

(参加型) リスクコミュニケーション研修
—リスクを共有するツールを学ぶ—

実施要項＝

- 【対象】 十勝圏の公務員、企業や農協（生産者も含む）などに勤務する社会人。
- 【目的】 社会人が各自の専門性の中で、リスクコミュニケーションの場をつくっていけるような素養を身につけることを目指す。
- 【目標】 ・リスク問題を考えるに際しては、多様な視点とアプローチが必要になるわけを知る。
・リスクコミュニケーションの場の企画書が書けるようになる。
- 【主催】 帯広畜産大学・北海道大学リスコミ職能教育プロジェクト
- 【日時】 12月10日（月） 10時00分～17時00分
- 【会場】 帯広畜産大学 地域連携推進センター 2階マルチルーム
- 【講師】 帯広畜産大学 教授 門平 睦代 氏 他・北海道大学 農学研究院 学術研究員 棚橋 知晴氏
北海道大学 農学研究院 客員准教授 吉田 省子氏

【内容】

1. 午前の部（10：00～12：00）
 - 1) 主旨説明
 - 2) 講義：
リスクの捉え方の多様性
 - 3) ケーススタディ：
リスクコミュニケーションの模擬体験（遺伝子組換え食品が事例）
リスクコミュニケーションの場を用意します。一緒に考えることで、「聴く耳を持つ」「各々の専門性の文脈の中で様々な関与者の間に立つ」「リスクの問題を多様な視点から検討できる」といったことを味わいます。議論の分かれ道に出くわすような場面がありますので、その分かれ道を積極的に考えてみます
2. 午後の部（13：00～17：00）
 - 1) グループ実習
全体報告・企画書の報告会